

摂津市中学校給食の導入に係る基本的な考え方



平成26年（2014年）8月

摂津市教育委員会

— 目 次 —

| | |
|-----------------------|---|
| 1. はじめに | 1 |
| 2. 摂津市中学校給食の検討概要 | 1 |
| 3. 中学校給食の導入に係る基本的な考え方 | 2 |
| ① 給食の搬入・保管及び提供方法 | 2 |
| ② 配膳室及び購買部・食堂 | 2 |
| ③ ランチボックス（弁当箱）等の消耗品 | 2 |
| ④ 主食（ごはん）提供量の調整 | 3 |
| ⑤ 物資選定基準 | 3 |
| ⑥ アレルギー対応 | 3 |
| ⑦ 予約システム | 4 |
| ⑧ 給食費の徴収等 | 4 |
| ⑨ 開始時期 | 4 |
| 4. 今後検討すべき課題 | 5 |
| 5. 今後のスケジュール | 5 |

1. はじめに

摂津市では、府内の他市町村同様に家庭からの弁当持参いわゆる家庭弁当が中学校における昼食の主流となっています。しかし、平成23年6月、大阪府において学力や体力をはじめ、中学生の成長の源となる「食」を充実させ、大阪の教育力の向上につなげるために、府内で中学校給食を広げる目的で、「中学校給食導入促進事業補助制度」が創設されたことを受け、摂津市においても現代の中学生を取り巻く食生活環境や、保護者の意向を考慮して、中学校給食の導入及び運用について検討を行いました。

2. 摂津市中学校給食の検討概要

平成23年度に大阪府で「中学校給食導入促進事業補助制度」が創設された際に、摂津市学校給食会において全3回の検討委員会を開催、各実施方式について検討し、平成23年11月に取りまとめた意見が報告されました。この報告内容を踏まえて、大阪府に平成27年度からデリバリー方式選択制の中学校給食を実施する内容の計画書を平成24年3月に提出いたしました。また、同年7月に保護者対象の「中学校給食実施に向けた説明会」を開催し、9月に中学校給食に関するアンケート調査を児童・生徒及び保護者に対して行い、10月の保護者対象の説明会にてアンケート結果を報告しました。さらに、「中学校給食検討委員会」を設置、全3回の委員会を開催し、学校給食会の検討会の結果やアンケート結果などをもとに、意見交換・議論を重ね、提言が示されました。そして、平成25年1月開催の第1回教育委員会定例会においてデリバリー方式選択制中学校給食の実施について承認しました。平成25年度にはデリバリー方式選択制中学校給食検討委員会を設置し、運用面等について協議・検討しました。これらの検討委員会において挙げられた意見・提言を踏まえ、摂津市中学校給食の導入に係る基本的な考え方をここに示します。

3. 中学校給食の導入に係る基本的な考え方

① 給食の搬入・保管及び提供方法

- ・安全な給食を提供するため、「学校給食衛生管理の基準」「大量調理施設衛生管理マニュアル」に従い、調理終了から提供するまでの間、食品を10℃以下又は65℃以上で管理することを基本とする。
- ・搬入の際には保温コンテナ及び必要に応じて保冷剤あるいは蓄熱材を使用する。
- ・保管については、主食（ごはん）・汁物は温蔵庫、副食（おかず）は冷蔵庫、牛乳は牛乳保冷庫を使用して保管する。
- ・主食（ごはん）と汁物については温かく提供し、副食（おかず）と牛乳については安全な適温で提供する。
- ・副食（おかず）については冷たい提供となるが、汁物あるいは汁物容器を使って献立にアクセントをつけることで対応する。

② 配膳室及び購買部・食堂

- ・配膳室については1階校舎内の1教室とし、搬入に支障がない場所とする。
- ・購買部及び食堂については各校でその在り方や考え方に現時点でも差があるため、各学校の取り組み・考え方を尊重する。

③ ランチボックス（弁当箱）等の消耗品

- ・ランチボックス（弁当箱）の副食（おかず）容器については3つ仕切りとする。
- ・ランチボックス（弁当箱）等の容器の色については、色素沈着や経年劣化を考慮して、濃い目の色合いが良いため、本市ではオレンジ色を基本とする。

- ・汁物容器を使用して、汁物を提供するが、汁物容器の温度管理については、運用開始後も検証することとする。

④ 主食（ごはん）提供量の調整

- ・主食（ごはん）の不足分については、基本的に家庭から補っていただくこととし、運用開始後一定期間を経て、食育の観点から残飯に対する意識を重要視して減量調整について検討する。
- ・主食（ごはん）の基準量については12～14歳の摂取基準220gを目安として設定する。

⑤ 物資選定基準

- ・給食物資選定基準の程度が予約期限に影響を与える。基準をより厳しくすると物資の調達に時間と費用がかかるため、予約期限が早まる。逆に基準を緩めると柔軟な対応が可能となるため、予約期限を遅らせることができる。
- ・食の安全に対する十分な配慮と利便性のバランスが課題となるが、摂津市として食の安全に比重を置いた物資選定基準を設定する。

⑥ アレルギー対応

- ・献立表におけるアレルギー食材の表示については生徒及び保護者が判別しやすい表示とする。
- ・摂津市のアレルギー対応は「アレルギー食材の表示+飲用牛乳の除去」とする。
- ・運用開始後一定期間を経て、アンケート調査を行い、アレルギー対応について検討する。

⑦ 予約システム

- ・給食予約システムを導入することで保護者・生徒が利用しやすい環境づくりを行う。
- ・予約方法については、P C ・スマホ（携帯）・マークシートを利用する。
- ・予約単位については、1日単位で予約できるものとする。
- ・予約期限については、1週間前から10日前を基本とする。

⑧ 給食費の徴収等

- ・給食費徴収方法については、コンビニ決済とする。
- ・手数料については保護者負担（利用者負担）とする。

⑨ 開始時期

- ・平成27年4月の年度当初からの開始ではなく、報告書の内容を踏まえて平成27年6月実施とする。

4. 今後検討すべき課題

中学校給食開始後一定期間を経て、主食（ごはん）の提供量の調整やアレルギー対応についてはアンケート調査を実施し、実施後も引き続き検討を行うこととする。また物資選定基準や予約期限についても調理業者との調整の中でより適した基準や期限に近づけていくこととし、よりよい中学校給食の提供のために改善努力を行う。

5. 今後のスケジュール

平成 27 年給食提供開始に向け、平成 26 年度に配膳室設備を行い、給食調理業者を選定する。

また、予約システム業者選定についても並行して行い、実施に向けた準備を以下のとおり行う。

- 平成 26 年 中学校配膳室 整備
 給食調理業者 選定
 予約システム業者 選定
- 平成 27 年 6 月 給食提供開始予定